

四 つ の 葉



平成 30 年 新年号

特定非営利活動法人グリーンハート 042-304-0800

2018年今年もよろしくお願いいたします。

今年度新規事業として、児童デイサービスを卒業された方の事業を開始することが決まりました。残り3か月でどの位のことが出来るかわかりませんが、「ハンモック」という名前です。内容は後で詳しく書かせていただきますが、少しずつニーズに合った事業を考えていきたいと思っています。今年一年もそんな年にしたいと言うのが年初にあたっての抱負です。皆様のご意見も聞きながら本年も頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

6周年を振り返るためにシリーズでお届けします、第2弾。

事業のはじまり

2011年～2012年

国分寺市から日中時間預かり事業を委託され、初めての事業がスタートしました。スタート当初は、土曜日に小学生が何人か集まって英語の先生にいらしていただき英語を楽しんだり、利用者を増やすためにいろいろな活動をやっていたと思います。また、「おやこひろば」という名目で会員さんのひとりが中心となって、市内の通園施設に通われている幼児のご家族を集めてイベントをやってくださったりしていました。

そんな中、ここでまた自分の悪い性格なのか無謀なのか「厨房を作ろう。」という話になりました。と言いますか思いついてしまい、場所や費用等話がどんどん進み今でもあまり知られていないと思うのですが厨房を作っちゃいました。週2回お弁当の製造販売をしています。いつの日か成人の方々に入ってお仕事してもらえたらなという思いですが、今はまだまだ成長期です。

2013年～

それはもう偶然の産物でした。わたしのなかでずっと学童期の障害のある子供たちとご家族を支えたいという気持ちがあり、でも最重要人事である「児童発達管理責任者」に当たる人がいない、ということであきらめていたのですが。

要件をよく読んでいるうち、私自身がもしかしてなれるのではないかとということに気が付きました。これまたあまり知られていないことなのですが、ちょうど5年前に知的障がい者の相談員というものを拝命しておりまして、資格要件に5年以上の相談業務

と書かれており、東京都へ問い合わせしましたところ「大丈夫。」ということでデイサービス開始に向けての戦い？が始まりました。本当の意味でこの時期は、開設した厨房もあり相当しんどい日々だった気がします。プラス、息子が腸閉そくで入院、誤嚥性肺炎になり2週間入院し歩けなくなってしまい、何か自分自身がこれでもやるのか？と試されている気がしたものでした。 つづく

児童デイサービス事業「ツレハウス」「ツレハウス」L i k oの様子

夏休みは、いろいろなことをたくさんしました。でも、今年はお天気はずいぶんと泣かされました。夏の楽しみのプールや、外遊びが出来ないことも多くその分しっかりと調理活動をしたりしました。みんなで作り上げた食事は本当においしかったようでシーンと静まり返ってもくもくとたくさん食べる子どもたちを見ては、すごいなーと思ってみていました。

ある一人の高校2年生の女の子と夏休みが終わって始めたコスモスの貼り絵が完成しました。かなりの大作です！！そしてとても集中力がすごいです。→右下の写真

また、可愛いのが赤い色を貼る時には「さくらんぼ」「明太子」などと赤い色の食べ物を話しながら貼っていくのですが、どんどん集中していくと黙って貼り続けます。彼女もあと1年と少しで卒業です。お母様は進路について悩まれています。悩まなくてよい生活が来るとよいですね。

また、他の方でとてもユニークで素敵な作品を作る方がいます。いつもオリジナルにあふれ、出来上がった作品は一味違います。いつか個展とかできると良いのにね、とみんなで話しています。

↓独創性のある作品だと思いませんか？ ↓一枚一枚貼った貼り絵です。



特集 学校を卒業してからの生活

私と長くお付き合いくださっている仲間のお母さまとその方の娘さんのことを書いていただきましたのでまずお読みになってください。

就労継続B型へ通所している24歳の娘です。事業所でパンやお菓子等の製造、販売のお仕事をしています。

週5日月曜日から金曜日まで（事業所は9時から15時半まで）、朝8時過ぎに家を出て16時半前後に帰宅します。一人で公共交通機関で通っていますが、母親が送迎することも多々あります。また、市内等のお祭りの時期になると、土日に通所し、時間はその時々で異なり平日が代休となります。

平日の通所後、3日程度は家で帰宅後一人で、DVDを観たり音楽を聴いたりゲームをしたりして、夕食の19時ころまで過ごしています。週1回程度グリーンハートで2時間の時間預かりも願っています。

また、学生時代に比べると運動することが減ってしまい、運動不足解消になればと、手をつなぐ親の会の成人の余暇活動で水泳に月2-3回参加しています。親の会の余暇活動では、学生時代の仲間と会えるためいつも楽しそうです。

ヘルパーさんと過ごす時間預かりや外出なども大変助かっていますが、同世代の仲間と過ごせる活動はどれも嬉しそうで、このような成人の余暇活動がもっとあれば本人にとって、とても充実した日々が過ごせるのではないかと思います。

「余暇活動に関する希望」

*本人の希望

カラオケや音楽などの活動

仲間と一緒に外出

*親の希望

送迎者の同性ドライバーや添乗員だと安心して利用できる。

この方を含め私の周りの方は自分のお子さんと一緒に生活しつつ、自分の親の介護も入ってきており、いつ自分が倒れてもおかしくない状況で、日々過ごしていらっしゃる方もいます。もちろん私自身も、いろいろな条件が整ってこそ働かせてもらえますが、一つでも欠けるとその対応に慌てている状況です。

このように多くの方々は、卒後一気に社会資源が乏しくなって、家の中で過ごすことが多くなっていきます。ヘルパーさんの確保も難しいので、移動支援も使いづらい状況となっています。

そんな課題を考えつつ、デイの面談でお母さまたちとお話するたび我々法人として何かできないだろうかと数年前から総会では検討事項としてあげてきた事業があります。大事に事業を運営するには焦ってはいけないと思いつつも、早く始めなきゃという葛藤の中ようやく少し前に進める気がしてきましたので、皆様にお知らせしたいと思えます。

今年度後残り約3か月ではありますが、送迎や人員の配置ができますようでしたらスタートしたいと考えているのが、下記の事業です。

学校終わったら「ハンモック」においで~

事業をする目的は？

学校へ行っている間は児童デイサービスを使って色々な活動に参加できていたのに、卒業と同時にその活動範囲が狭められている現状です。また、せっかく児童デイと一緒に育ってきた子供たちが、その先にどうなっていくのか、どう暮らしていくことが良いのか常に心配があります。少しでも暮らしが豊かになってほしい、ご家族も安心して参加できる活動がほしいということで、まずはこの事業を始めてみようと思っています！！

参加できる人（学校卒業後）

- * 特定非営利活動法人グリーンハートの会員のご家族
- * 国分寺市民であれば、日中時間預かり事業を利用できる人
- * 日中どこかの施設や事業所に所属している人
- * そのほか（市民以外の方は要相談です。）

実施曜日

- * 毎週火曜日・木曜日（当初はどちらか） pm 4時から7時まで 夕食付
- 第3土曜日 9時から16時まで 途中外出を含みます。

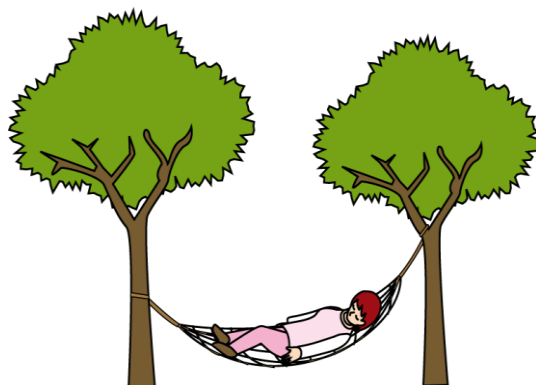
* 申し訳ありませんが送迎はありませんので自力でいらっしゃるか送迎サービスとの契約が必要です。法人と送迎の団体契約も考えています。

成人の方の福祉サービスとして利用しやすいものは何か？と考えたとき、「国分寺市日中時間預かり事業」が浮かびました。この制度は、幼児の方から成人の方までご利用いただけるのですが、知っている方も少ないですし、利用をしたくてもやはりその場所へ行くまでの手段がないとなると使いにくいものがあります。

また、法人の会員になっていただくことを条件としましたのは、法人の応援をしていただきたいという意味合いもあります。まだまだ不安定な法人でありますので、一緒に作っていかうと思ってくくださる方、役員になる必要は全くありませんので、気持ちだけでも応援をお願いしたいと考えたからです。

夕食は、当法人で作っている一食500円のお弁当を提供できればと考えています。土曜日に関しましては、部屋で過ごす時間と外へ行く時間を分け、一日外出ではなく放課後等デイでの過ごし方の延長を考えています。

どういう形になっていくのか今はまだわかりませんし、人の確保ができるのか、送迎は大丈夫かなどもろもろ出てくると思われますが、小さい事業でも何かのお役にたてれば幸いです。



*名前の由来

グリーンハートは、緑にまつわるものを使って名前を付けています。最初の候補として「ミントクラブ」も浮かびましたが、「ツリーハウス」を卒業して、その木の幹でのんびりゆったりして「ハンモック」に揺られるのもいいかなーと思い名付けました。

学校へ行っている間は天国、卒業したら毎日家で過ごす。そんな日々から一日でも違う場所での生活ができるようになればと考えています。

卒業してからの生活のほうがるかに長い生活が待っています。少しずつ卒業後の生活が豊かになるよう、私たちも頑張っていきたいと考えています。

《研修報告》

11月9日、13日の2日間、わたくしは「強度行動障害支援者養成研修」というものを受けに行っていました。一日目は、朝9時半から17時まで座学にて、「強度行動障害とは？」から始まり、なぜそういう行動障害が起こるのか背景の勉強をし、医療的なケアを含め私たちには何ができるのかなどを学びました。

二日目はやはり同じ時間帯で今度はグループに分かれグループワークをしました。その中で下は21歳の方から最高齢の私まで幅広い年齢層でしたが6人一組で、自閉症の方の困り感を学んだり事例を検討したりしました。

今までわかっていると思っていたことも、本当はよくわかっていなかったのだなと思えることもあり、知的に重度の方で自閉症を併せ持つ方の生きにくさのようなものを少しだけかもしれませんがわかった気がして、放課後等デイサービスにいらっしやっている方々にも、学んだことをお返しできればと思っています。

研修で得たことは、職員会議で共有しました。ただ、私の説明ではどれだけ理解できたか不安ではありますが、今後ほかの職員にもこの研修には参加してもらえるといいなと考えています。今回の研修で一番理解できたと思えたのは、表に出てきているその人の現象は深いところに発端があって、目に見えるところを直そうとしてもそれは直るものではないということでした。行動の背景を考えることが重要だと分かりました。

また、11月15日には、社会福祉法人 金木星の会が運営する入所施設「金木星の郷」(きんもくせいのみさと)の見学に行ってきました。

ここは、学芸大学の先生たちがかかわっていると聞きし一度見に行ってみたくて願っていた場所でした。武蔵五日市の駅から歩いて行かれるところに建つこの施設は、強度行動障害者といわれる方々が暮らす施設でもあります。

施設長さんに、子供のころ何をしてあげればよいでしょうか？とお聞きしたところ「なにも教えこんだりせずとにかくかわいがってあげてほしい。そうすれば大人になって人を信用し受け入れてくる人になる。」とおっしゃっていたのが印象的でした。

私は「小さい頃間違っているいろいろ教えようとして失敗したと後悔している。」という「もういいんじゃないですか忘れて。」と優しくおっしゃってくれました。

かなり強硬なスケジュールでありましたが、自分にとってとても有意義な3日間でした。これからの指導や活動に生かしていかれればと思います。 本間

編集後記

2018年の年があげました。私は福岡で元日を迎えましたが、夫が旅先で熱を出し家までたどり着けるのか不安でした。精神力で何とか頑張ってくれて家につきほっとしました。何があってもおかしくない年齢の母そして息子、そのうえ自分たちのこと、これからはしっかりと見つめないといけませんね。 本